



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 139

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 東京都35区など、東京の変遷を地図で調べたい。

答) 地図資料には、地図のみではなく地図とともにその解説を記した図書もあります。
まず、図書からタイトルを選択し、ことばを組み合わせで検索してみます。

図書 → タイトルから調べる → 地図 東京 → 51件

『コンサイス東京都35区区分地図帖』(213.6/To46 閉架書庫)
『戦前昭和東京散歩』(291/J52 閉架書庫)
『大東京市区分地図』(291/Ki24 閉架書庫)
『東京の戦前 昔恋しい散歩地図2』(213.6/A25/2 開架書棚)
『地図で見る東京の変遷』(291/C49 カウンター書棚)

地図から検索してみます。

地図 → 地域から調べる → 関東 → 東京都 → [東京府] 東京市 → 2件

『東京東南部』昭和7年発行 (M11.053-03 閉架書庫)
『東京東北部』大正8年発行 (M11.053-02 閉架書庫)

<上記はいずれも5万分の1地図>

※慶應4年(1868年)7月、江戸は東京と改称され東京府が設置された。
以降、さまざまな変遷(東京市15区→35区→東京都→35区→22区)を
経て昭和22年(1947年)8月、東京都は現在の23区となった。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



コーヒーに見る戦中戦後



今や国民的飲料となっているコーヒーですが、戦中から戦後にかけては不自由な時期がありました。しかも疑惑の取引の道具にすらなっていたのです。

昭和12年に日中戦争が始まり、同年10月に制定された『臨時輸出入許可規則』には不急不要品と認定された260点余が輸入禁止ということになりましたが、コーヒーは入りませんでした。それはブラジル等からの輸入が禁止しづらい(特にブラジルには日本移民が多くいたため)という理由がありました。しかし国内でのコーヒーの輸入・消費は少なくなり、昭和19年ごろ輸入は全く途絶し、昭和20年頃の国内コーヒー業界は売るものもなく、全く空白の状態になっていました。

そんな業界に終戦直後、思いがけない出来事が起こりました。長野県から農林省に対し、払下をしたいのだがコーヒー豆の公定価格はどうなっているのか、との照会があったことがきっかけで「^{いんたいぞう}隠退蔵コーヒー豆」の存在が明らかになったのです。これは、軍がもっていたコーヒー豆を、終戦の2~3週間前に各府県に分散させたものと言われています。各業者にとってそれは貴重品であったため、かれらの払下運動も猛烈を極めたのですが、「群馬コーヒー事件」のような後味の悪い出来事も起こりました。

昭和22年の春から夏にかけて、群馬県が県下に配給した小袋入りのコーヒー豆が浅草ででまわったことから、コーヒー豆の隠退蔵が発覚したのです。全国珈琲統制組合(昭和19年7月に改組された全国のコーヒー業者の組合)は時を移さず、たびたび群馬県庁に払下げを陳情したのですが、噂が広まり、コーヒー業者のみならず、魚屋や薬屋など関係のない者も一儲けを狙って激しい陳情合戦が起こりました。

その後、県当局から「残りの在庫数量は110t」と発表されますが、この時点では既に120tが問屋集団である日本珈琲株式会社に払い下げられ、16tは県下の食料品統制組合に引き渡された後でした。

そして110tのうち、全国珈琲統制組合への割当はわずか5t、しかも払下げの代償としてコーヒー豆1tにつき次の物品の一品目の提示(地下足袋1500足、自転車400台、タイヤ450本、チューブ900本、塩1トン)、さらに違約保証金として25万円を差し出すようにという、不当な要求をつきつけられたのです。他の業者によっては、コーヒー豆1tに対して、9月に発生したキャサリン台風の見舞金として30万円の寄付を要求された者もいたといいます。組合はもちろん県庁に抗議しますが、県民のための活用だといって要求を引きませんでした。やむを得ず全国各地の珈琲組合に諮り、違約保証金を拠出し、48600円で払下げを受けました。

のちにこれが価格統制令違反に問われ、世間の注目をあび、ときの県知事らの解職、業者の取り調べにまで発展しました。しかしなぜ県庁がここまで不可解な払下げを強行したのか、不思議な事件でした。

その後も、コーヒー豆は連合軍の放出などといった予測のできない出来事でしか一般に出回ることではなく、輸入が再開される昭和25年まで回復を待たざるを得ませんでした。

参考資料 日本コーヒー史 上・下巻(619/Z3 閉架書庫)

—図書室から—

防犯ゲートが誤動作をするケースが見られます。かばんの中の物に不用意に反応することがあるようです。手荷物はコインロッカー、大きなものはカウンターに預けていただくよう、ご協力をお願いします。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 139

2011年10月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1